

大桑 第78号 5月号 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員2期目

よろしくお願ひします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

横浜開港150周年！

横浜市は今年(2009年)、開港150周年を迎えますが、横浜開港150周年を記念して、横浜市内で様々なイベントがおこなわれております。

先月(4月)末からは、みなとみらい周辺(2009年4月28日～9月27日)で開港イベントが始まっておりますし、ズーラシア周辺(2009年7月4日～9月27日)でも様々なイベントが開催される予定になっております。

また、2009(平成21)年5月31日(日)には横浜開港150周年を記念しての記念式典がパシフィコ横浜国立大ホールでおこなわれます。この式典は150周年事業の中心的なイベントであり、宮本垂門さんのショーなどもおこなわれる予定です。

最後になりますが、横浜開港150周年を記念してのイベントは上に書いたイベントの他に様々な形でおこなわれます。横浜開港150周年を盛り上げるために各地でおこなわれるイベントに、是非、足を運んで頂ければと思います！

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

第78号(5月号)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

<http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(2人)、マメ(猫)、グリ(犬)

(マメとグリはそれぞれの実家にいます)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

3月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成20年度3月現在の政務調査費累計残高は**一37,652円**です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	273,744円	会議費	0円
調査研究費	14,840円	事務費	8,547円
資料費	12,000円	事務所費	89,003円
広報・広聴費	172,181円	その他	0円
人件費	40,420円		

3月の支出合計は

619,735円です。

近況報告

平成21年度最初の本会議(第2回定例会)が平成21年5月29日(金)から平成21年6月19日(金)で開催される予定です。もし変更があればすぐに大桑新聞でお知らせしますので、よろしく願います。

定額給付金

横浜市においても5月7日(木)から定額給付金に関する申請書が郵送されることになっております。定額給付金の受給方法ですが、口座振込が基本となりますが、口座振込が困難な方は区役所の窓口で受け取ることもできます。

次に、定額給付金に関する振り込め詐欺が、早くも出始めております。横浜市が定額給付金に関して電話をかけたATM操作を求めるようなことは絶対にありません。いつもと違う電話があったときは、警察や区役所などに相談して下さい!

最後に、横浜市では、定額給付金の使い道として「寄付」というメニューを用意しました。詳しくは、「045-330-7222」でお聞き頂ければと思います。また、定額給付金は、書類の確認や振込作業に膨大な時間が必要です。ご理解頂ければと思います。

市営住宅

地球市民プラザの横にある市営住宅(小菅ヶ谷住宅)の耐震工事が今年度の夏頃から始まります(平成21年度末までの予定)。現在、市営住宅の前に「建築計画のお知らせ」という看板がたっておりますが、これは、あくまでも耐震工事に伴うものであり、今の市営住宅を大幅に変更したり、壊したりするものではありません。市営住宅にお住まいの方や近隣にお住まいの方、また、市営住宅の周りを日頃から通行されている方には、ご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解頂ければと思います。

ゴミの分別について

大桑新聞76号で燃やすゴミの分別が進み、平成13年度に対して平成19年度の燃やすゴミの量を約**38.7%削減**できたとお知らせしました。今回は分別した缶やビン古布など資源物の売却益などについてお知らせします。

平成19年度の資源物の売却益は約**25億円**となっております。ただし、すべての資源物が売れるわけではありません。処理をするために費用がかかることもあります。しかし、費用がかかっても適正に処理をすることにより多くのCO2を削減することができます。これも平成19年度の削減効果ですが、平成13年度に対するCO2の削減量は約**84トン**となり、これは、杉の木約**6千万本**が一年間に吸収する量に匹敵するといわれています。今後もご協力をお願いします。

最後になりますが、売却益は経済状況などによって、毎年、違ってきます。平成19年度は上に書いたような売却益が出ましたが、平成20年度・平成21年度も同じような売却益が出るわけではありませんので、ご理解頂ければと思います。